

# 一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会審査日程

日 時 令和5年9月6日（水）  
午前9時

場 所 第1委員会室

日 時 令和5年9月7日（木）  
午前9時

場 所 第1委員会室

## ～審査内容～

- 1 議案第57号 令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第6回）について

### **審査番号①** 総務部、大学推進室、選挙管理委員会

(1) 歳出（特定財源を含む）に係る説明

- 2-7-1 大学推進室（歳入 22-1-1）

地方債補正：大学整備事業債

- 2-4-2 選挙管理委員会
- 9-1-2 消防課（歳入 15-2-7、21-4-3）

(2) 歳出（特定財源を含む）に係る質疑

### **審査番号②** 総務部、企画部、協創部

(1) 歳入に係る説明

- 10-1-1、11-1-1、19-1-1、22-1-9 財政課

(2) 歳入に係る質疑

(3) 歳出に係る説明

- 2-1-4 デジタル推進課（歳入 21-4-3）
- 2-1-8 財政課
- 2-1-14 総務課
- 2-1-21、2-1-22 市民活動推進課
- 2-1-24、2-1-27、2-1-28 文化スポーツ推進課

（歳入 19-1-10、21-4-3）

- シティセールス課

債務負担行為補正：サポート寄附受発注等支援業務

(4) 歳出に係る質疑

**審査番号③ 教育委員会**

(1) 歳出（特定財源を含む）に係る説明

○ 10-5-3 歴史民俗資料館（歳入 22-1-8）

地方債補正：歴史民俗資料館整備事業債

(2) 歳出（特定財源を含む）に係る質疑

2 承認第4号 令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第5回）に関する専決処分について

**審査番号① 総務部、企画部**

(1) 歳入に係る説明

○ 19-1-1 財政課

(2) 歳入に係る質疑

(3) 歳出に係る説明

○ 2-1-14 総務課

(4) 歳出に係る質疑

3 議案第47号 令和4年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について

**決算認定**

審査番号	項目	ページ	審査事業	担当部・課
	明示していないが、各課の歳入を含む			
①	2款1項15目、2項1、2目、7項1目	164-165 184-187 198-201	8 9 10	税務課 大学推進室
②	1款 議会費	134-137		議会事務局
	9款 消防費	322-327		消防課
③	2款1項1～3、14、31、32目	136-147	3	総務課 人事課
	5項1、2目	162-165		

		182-185 194-197		
④	2 款 1 項 4、6、8 目 12 款 1 項 1、2 目 13 款 1 項 1 目	146-153 370-371 370-373		デジタル推進課 財政課
⑤	2 款 1 項 5、9、10 目 7 款 1 項 4 目	146-149 152-155 156-157 294-297	① ②	シティセールス課 企画課 デジタル推進課
⑥	2 款 1 項 7、18 目、4 項 1～4 目、 6 項 1 目	148-149 164-167 190-195 196-199		出納室、監理室、 選挙管理委員会事務局 監査委員事務局
⑦	2 款 1 項 10、30 目、3 項 1 目	156-157 180-183 186-191		地域活性化室 パスポートセンター
⑧	2 款 1 項 16、17、19～23 目 3 款 1 項 1、7、8 目	164-167 166-171 200-205 214-217	④ ⑤	市民活動推進課
⑨	2 款 1 項 24～29、32 目	170-179 184-185	⑥ ⑦	文化スポーツ推進課
⑩	10 款 1 項 2 目、5 項 1～8 目	326-331 348-363	⑭	社会教育課 図書館 歴史民俗資料館 心の支援室
⑪	10 款 1 項 1～3 目、2 項 1～4 目 3 項 1～4 目、4 項 1 目 6 項 1、2 目 11 款 4 項 1 目	326-347 364-369 370-371	⑪ ⑫ ⑬	教育総務課 学校教育課 埴生幼稚園 学校給食センター

- ※1 決算審査は審査番号ごとに職員を入れ替えながら行います。
- ※2 決算認定の審査番号⑦は、6日の午後1時から行います。
- ※3 補正予算の審査番号③及び決算認定の審査番号⑩は、7日の午前9時から行います。
- ※4 決算認定の審査番号⑪は、7日の午後1時から行います。
- ※5 審査の進行状況により、審査の前倒し、先送りを行うこともあります。
- ※6 決算審査の方法は、審査番号ごとに次の順序で行います。
  - (1) 審査対象事業の説明（事業概要、実績、成果、課題及び改善策、今後の方向性を簡潔に説明）及び質疑（複数ある場合は、1事業ごとに行う）
  - (2) 決算書の歳出の質疑（審査対象事業の部分を除く）
  - (3) 決算書の歳入の質疑（審査番号ごとに歳入の質疑を行います）

駐車場・テニスコート整備事業 設計費変更内訳

【地質調査業務】

当初地質調査により、軟弱地盤解析が必要となったため、解析に必要な地質調査（1箇所）を実施

項目	単位	数量	増減(税抜き)
① 一般調査業務			1,008,480円
直接調査費			351,140円
土質ボーリング(砂質土)	m	5	84,500円
土質ボーリング(粘性土)	m	0.5	6,800円
土質ボーリング(礫まじり土砂)	m	1	31,300円
シンウォールサンプリング	試料	2	48,200円
室内土質試験(湿潤密度試験)	試料	2	6,860円
室内土質試験(圧密試験)	試料	2	104,600円
資料整理とりまとめ	業務	1	68,880円
間接調査費			318,350円
準備及び後片付け	業務	1	235,000円
調査孔閉塞	箇所	1	6,050円
給水費(ポンプ運転)	箇所	1	20,200円
平坦地足揚高さ0.3m以下	箇所	1	57,100円
直接・間接調査費計			669,490円
諸経費(諸経费率変更58.7%→55.8%)	%	55.8	338,990円
② 解析等調査業務			1,123,351円
直接人件費			474,592円
資料整理とりまとめ	業務	1	59,892円
総合解析とりまとめ	業務	1	414,700円
直接原価			474,592円
間接原価(直接原価*0.5385)	%	53.85	255,568円
業務原価(直接+間接原価)			730,160円
一般管理費等(業務原価*0.5385)	%	53.85	393,191円
<b>地質調査業務(①+②)</b>			<b>2,131,831円</b>

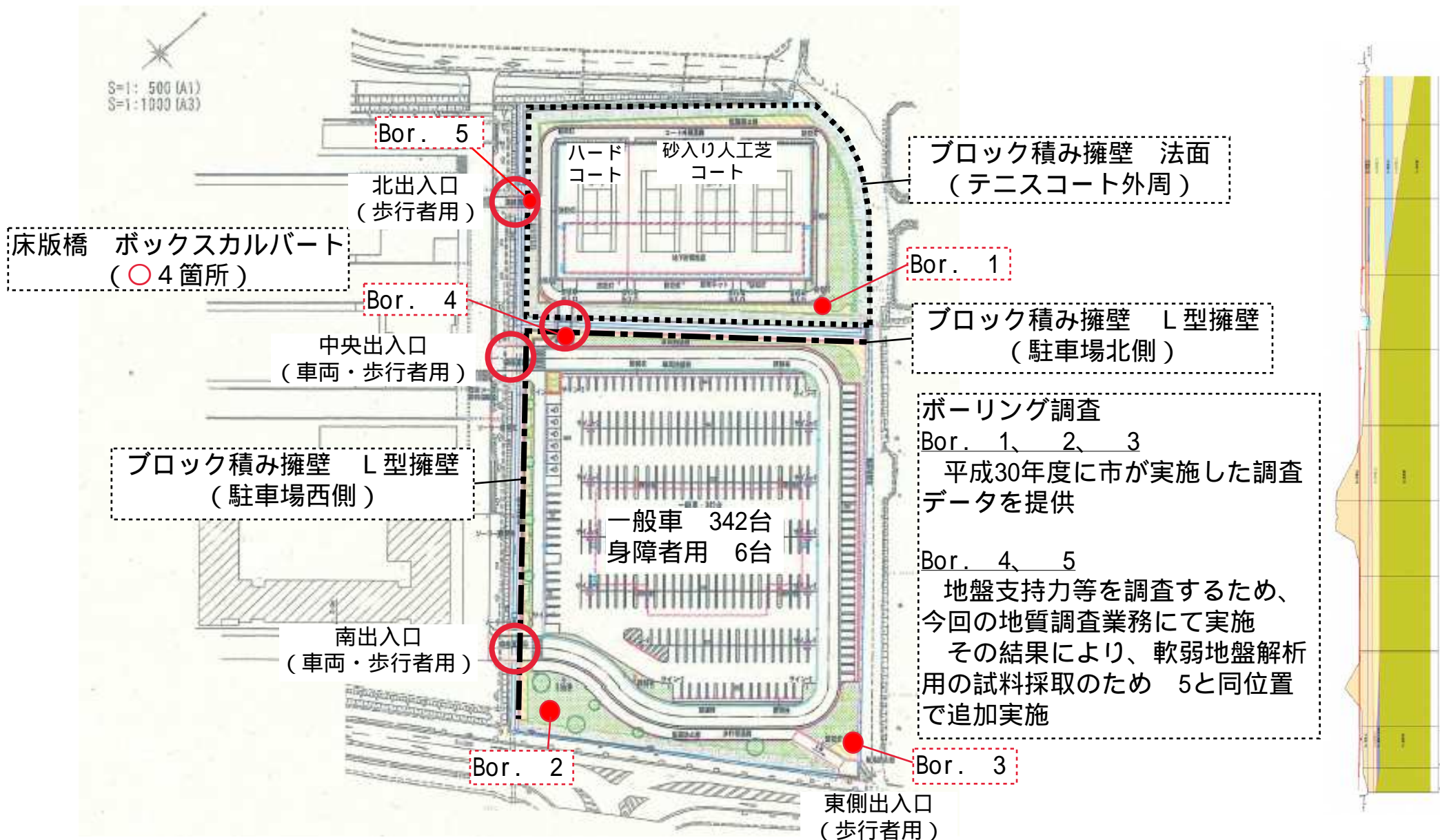
【設計業務】

- 軟弱地盤上の擁壁設置量を低減するため、擁壁を法面に変更  
また、施工性、地下水対策のため、ブロック積み擁壁をプレキャストL型擁壁に変更
- 床版橋をボックスカルバートに変更
- 盛土による圧密沈下等への対策工法を検討するため、軟弱地盤解析を実施

項目	単位	数量	増減(税抜き)	備考
① 直接人件費			910,228円	
擁壁設計			△ 228,980円	
ブロック積み擁壁設計	式	1	△ 525,320円	取りやめ
プレキャストL型擁壁設計	式	0.5	296,340円	
床版橋設計			△ 1,893,052円	取りやめ
重力式橋台設計	橋	4	△ 1,239,964円	
床版工設計	橋	4	△ 653,088円	
ボックスカルバート設計			1,457,360円	
ボックスカルバート予備設計	式	1	809,300円	
ボックスカルバート割付一般付図作成	式	1	648,060円	
軟弱地盤解析	式	1	1,574,900円	
② 直接経費			19,735円	
電子成果品作成費	式	1	14,000円	
旅費交通費(打合せ、関係機関協議)	式	1	5,735円	
③ 直接原価(①+②)			929,963円	
④ 間接原価(①*0.5385)	%	53.85	490,158円	
⑤ 業務原価(③+④)			1,420,121円	
⑥ 一般管理費等	%	53.85	764,735円	
<b>設計業務(⑤+⑥)</b>			<b>2,184,856円</b>	

<b>地質調査業務+設計業務</b>	<b>4,316,687円</b>
端数調整	△ 6,687円
消費税	431,000円
<b>合計(消費税込み)</b>	<b>4,741,000円</b>

### 駐車場・テニスコート計画平面図



## 令和5年度 普通交付税措置額（公立大学分）と用途について

### A：補正前（当初予算）

### B：補正後（第6回補正）

差 額  
(B-A)

<b>① 普通交付税措置額 (㊦+㊧)</b>	2,710,194千円
<b>【運営費分】</b>	
㊦ 工学部：1,461,000円×979人=1,430,319,000円	
㊧ 薬学部：1,647,000円×714人=1,175,958,000円	
㊦ 計 (㊦+㊧)：2,606,277千円	
<b>【授業料等減免分】 ㊨ 103,917千円</b>	
<b>② 計</b>	<b>2,607,370千円</b>
<b>差引過不足額 (①-②)</b>	
	102,824千円

<b>① 普通交付税措置額 (㊣+㊤)</b>	2,738,860千円	28,666千円
<b>【運営費分】</b>		
㊣ 工学部：1,461,760円×973人=1,422,292,480円		㊣-㊦ 6,482千円
㊤ 薬学部：1,667,320円×714人=1,190,466,480円		
㊣ 計 (㊣+㊤)：2,612,759千円【千円未満四捨五入】		
<b>【授業料等減免分】</b>		
㊤ 126,101,307円≒126,101千円【千円未満四捨五入】		㊤-㊨ 22,184千円
<b>② 計</b>	<b>2,611,568千円</b>	<b>4,198千円</b>
<b>差引過不足額 (①-②)</b>		
	127,292千円	24,468千円

↓ 余剰額を基金に積み立て ↓

公立大学法人運営基金積立金	102,824千円
---------------	-----------

公立大学法人運営基金積立金	127,292千円	24,468千円
---------------	-----------	----------

### 運営費交付金等の推移について

■ 平成28年度～令和4年度の金額は決算額、令和5年度は9月補正時の金額です。学生数は、毎年5月1日現在の人数です。

自主財源・運営費交付金・補助金		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
大学予算(決算)額		1,542,651,000円	2,274,835,000円	2,674,446,000円	2,525,804,000円	2,509,209,000円	2,639,753,000円	3,285,563,000円	3,582,237,000円
自主財源	金額	771,628,000円	729,750,000円	1,131,531,000円	988,281,000円	842,797,000円	911,112,000円	1,376,618,000円	1,604,716,000円
	割合	50.0%	32.1%	42.3%	39.1%	33.6%	34.5%	40.7%	44.8%
運営費交付金	金額	771,023,000円	1,545,085,000円	1,542,915,000円	1,537,523,000円	1,590,987,000円	1,645,940,000円	1,620,304,000円	1,743,628,000円
	割合	50.0%	67.9%	57.7%	60.9%	63.4%	62.4%	49.3%	48.7%
授業料等減免補助金	金額					75,425,000円	82,701,000円	84,360,000円	103,917,000円
	割合					3.0%	3.1%	2.6%	2.9%
施設整備補助金	金額							204,281,000円	129,976,000円
	割合							6.2%	3.6%

工学部		トップランナー方式(※1)							
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
普通交付税	単価	1,694,970円	1,644,800円	1,602,540円	1,534,100円	1,504,800円	1,457,960円	1,460,760円	1,461,760円
	対前年度		▲3.0%	▲2.6%	▲4.3%	▲1.9%	▲3.1%	0.2%	0.1%
学生数(899人)		922人	971人	1,004人	924人	889人	893人	902人	973人
1年(260人)(※2)		221人	204人	211人	223人	208人	219人	220人	292人
2年(200人)		361人	219人	201人	209人	221人	196人	224人	226人
3年(200人)		180人	382人	285人	231人	235人	244人	218人	219人
4年(200人)		134人	136人	282人	224人	185人	194人	198人	185人
小計(860人)		896人	941人	979人	887人	849人	853人	860人	922人
大学院(39人)		26人	30人	25人	37人	40人	40人	42人	51人
普通交付税措置額		1,562,762,340円	1,597,100,800円	1,608,950,160円	1,417,508,400円	1,337,767,200円	1,301,958,280円	1,317,605,520円	1,422,292,480円
対前年度増減額			34,338,460円	11,849,360円	▲191,441,760円	▲79,741,200円	▲35,808,920円	15,647,240円	104,686,960円

薬学部		トップランナー方式(※1)							
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
普通交付税	単価			1,832,220円	1,777,440円	1,721,400円	1,687,560円	1,663,800円	1,667,320円
	対前年度				▲3.0%	▲3.2%	▲2.0%	▲1.4%	0.2%
学生数(720人)				119人	261人	378人	487人	597人	714人
1年(120人)				119人	148人	124人	125人	128人	129人
2年(120人)					113人	147人	118人	120人	147人
3年(120人)						107人	140人	113人	102人
4年(120人)							104人	133人	109人
5年(120人)								103人	124人
6年(120人)									103人
普通交付税措置額				218,034,180円	463,911,840円	650,689,200円	821,841,720円	993,288,600円	1,190,466,480円
対前年度増減額					245,877,660	186,777,360	171,152,520	171,446,880	197,177,880

※1 トップランナー方式：地方交付税の算定基礎となる単位費用の一部の積算に、民間委託等による合理化の要素を反映させたもの〔公立大学：平成29年度～令和3年度の5年間で約15%の削減〕

※2 令和5年4月工学部数理工学情報科学科新設(入学定員60名増)

総数(額)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生総数		922人	971人	1,123人	1,185人	1,267人	1,380人	1,499人	1,687人
普通交付税措置額【R2からの新制度】		1,562,762,340円	1,597,100,800円	1,826,984,340円	1,881,420,240円	1,988,456,400円	2,123,800,000円	2,310,894,120円	2,612,758,960円
授業料等減免分⇒						135,661,848円	130,899,797円	134,260,861円	126,101,307円
対前年度増減額			34,338,460円	229,883,540円	54,435,900円	242,698,008円	130,581,549円	190,455,184円	293,705,286円



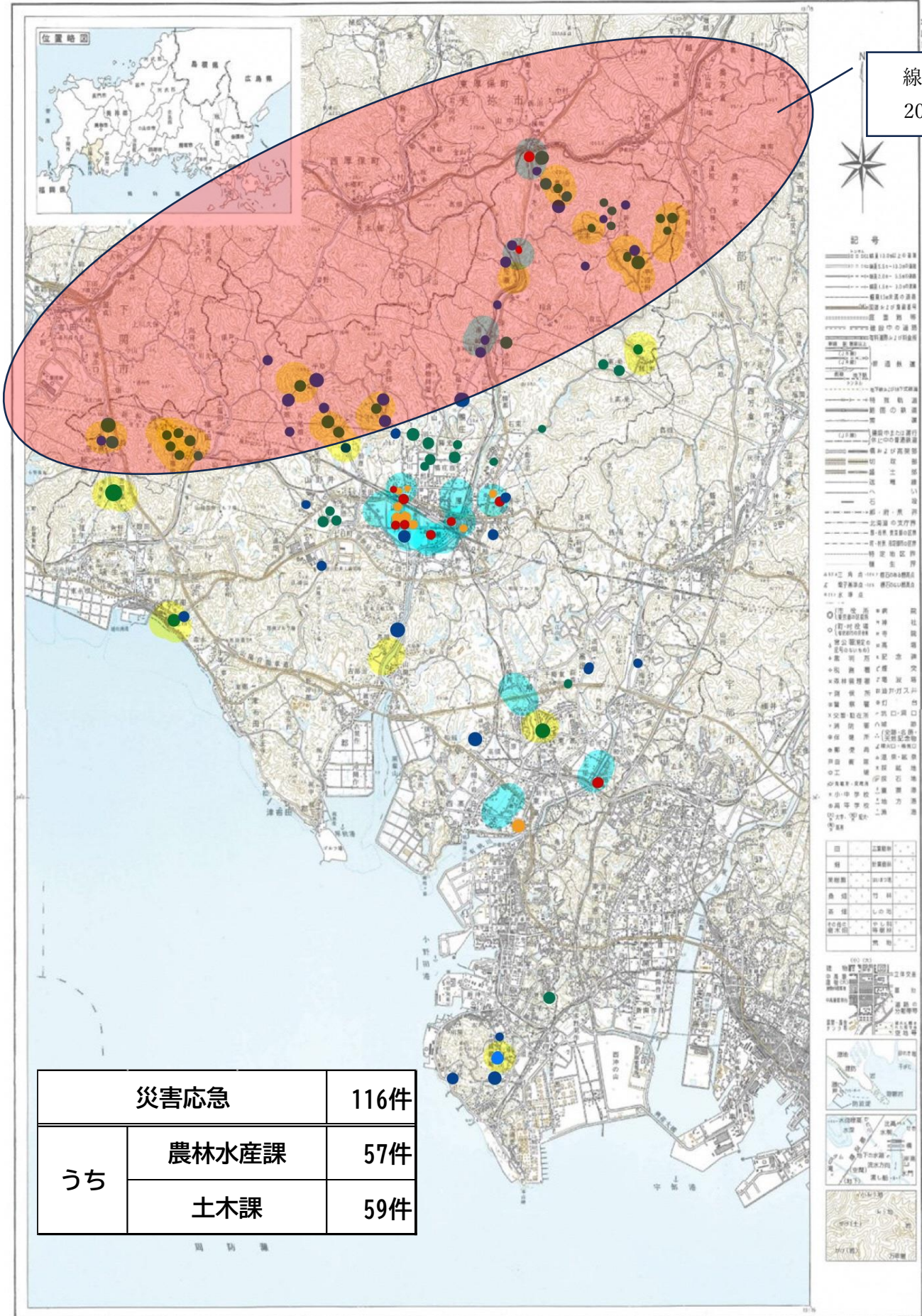
## 公立大学法人運営基金の推移について

年度	内 容	積立額	取崩額	基金残高
H28	学校法人からの施設整備負担金の余剰金 〔607,829,597円－322,814,000円＝残額285,015,597円〕	285,015,597	0	285,015,597
	寄附金〔メスキュード医療安全基金〕 ※H27年度分収入	1,500,000	0	286,515,597
	普通交付税措置額の余剰分 〔1,562,762,000円－448,209,000円－51,200,000円〕	1,063,353,000	0	<b>1,349,868,597</b>
H29	利子	3,031	0	1,349,871,628
	利子	6,730	0	1,349,878,358
	運営費交付金に充当〔財源は学校法人からの施設整備負担金： 285,015,597円－47,457,000円＝残高237,558,597円〕	0	▲ 47,457,000	1,302,421,358
	運営費交付金に充当〔普通交付税不足分の補てん〕	0	▲ 169,487,000	1,132,934,358
	校舎建設費に充当〔1,562,762,000円×20%－51,200,000円〕 ※ H28年度分の充当残額	0	▲ 261,352,000	<b>871,582,358</b>
H30	利子	4,660	0	871,587,018
	利子	4,345	0	871,591,363
	運営費交付金に充当〔財源は学校法人からの施設整備負担金：残 額0円〕	0	▲ 237,558,597	634,032,766
	普通交付税措置額の余剰分 〔1,822,800,000円－364,560,000円－1,304,856,000円－31,103,000 円〕	122,281,000	0	756,313,766
	普通交付税措置額の余剰分(追加) 〔(1,826,984,000円－1,822,800,000円)×0.8＝3,347,200円 ※千円未満切上〕	3,348,000	0	759,661,766
	寄附金の積立〔H28 メスキュード医療安全基金100万円、H29 メ スキュード医療安全基金50万円、H30 企業100万円〕	2,500,000	0	762,161,766
	大学関連事業費(理科大生市内定住促進事業費)の減額に伴うも の ※決算〔21,103,000円－7,163,000円＝13,940,000円〕	13,940,000	0	<b>776,101,766</b>
R01	利子	2,598	0	776,104,364
	利子	2,373	0	776,106,737
	利子	601,643	0	776,708,380
	寄附金の積立〔H30 メスキュード医療安全基金100万円、R01 企 業100万円〕	2,000,000	0	778,708,380
	運営費交付金に充当〔財源は寄附金。工学部：2,000,000円、薬学 部：2,000,000円〕※メスキュード医療安全基金分300万円、企業 分100万円	0	▲ 4,000,000	774,708,380
	運営費交付金に充当〔普通交付税措置額から校舎建設費、運営費 交付金、その他大学関連経費を差し引いて不足する額〕	0	▲ 78,306,000	696,402,380
	普通交付税措置額の確定〔普通交付税不足分の減〕 〔(1,881,420,000円－1,845,013,000円)×0.8＝29,125,600円〕※千 円未満切捨	0	29,125,000	725,527,380
	大学関連事業費(理科大生市内定住促進事業費)の減額に伴うも の ※決算〔20,794,000円－5,157,625円＝15,636,375円〕	0	15,636,375	<b>741,163,755</b>
R02	利子	3,482	0	741,167,237
	利子	3,837	0	741,171,074

## 公立大学法人運営基金の推移について

年度	内 容	積立額	取崩額	基金残高
R02	寄附金の積立〔R01：メスキュード医療安全基金分100万円、R02：企業分100万円、個人5万円〕	2,050,000	0	743,221,074
	運営費交付金に充当〔普通交付税不足分の充当〕	0	▲ 53,447,000	689,774,074
	普通交付税措置額の確定〔普通交付税不足分の減〕 〔2,124,118,000円－2,021,530,000円－55,756,000円＋6,615,000円＝53,447,000円〕	0	53,447,000	743,221,074
	普通交付税措置額の余剰分 〔2,124,118,000円－397,691,000円－1,590,987,000円－71,713,000円－7,971,000円＝55,756,000円〕	55,756,000	0	798,977,074
	授業料等減免補助金に充当〔普通交付税余剰分の減〕 〔71,713,000円－87,749,000円＝▲16,036,000円〕	▲ 16,036,000	0	<b>782,941,074</b>
R03	利子	3,666	0	782,944,740
	利子	4,053	0	782,948,793
	寄附金の積立〔R03：企業分100万円〕	1,000,000	0	783,948,793
	運営費交付金に充当〔普通交付税不足分の補てん〕	0	▲ 110,120,000	673,828,793
	運営費交付金に充当〔寄附金分の充当〕	0	▲ 4,050,000	669,778,793
	普通交付税措置額の確定〔普通交付税不足分の減〕 〔2,254,700,000円－2,226,358,000円＋1,726,000円＝30,068,000円〕	0	30,068,000	699,846,793
	授業料等減免補助金及び理科大生市内定住促進事業費の減額に伴うもの ※決算〔103,735,000円－86,763,255円＝16,971,745円〕	0	16,971,745	<b>716,818,538</b>
R04	利子	3,732	0	716,822,270
	利子	3,574	0	716,825,844
	公立大学法人納付金	50,197	0	716,876,041
	寄附金の積立〔R04：企業分100万円〕	1,000,000	0	717,876,041
	普通交付税措置額の余剰分〔大学事業費〕	17,507,000	0	735,383,041
	普通交付税措置額の確定〔大学事業費余剰分の増〕 〔59,670,000円－17,507,000円＝42,163,000円〕	42,163,000	0	777,546,041
	大学事業費の減額補正〔大学事業費余剰分の増〕 〔11,642,000円－4,574,000円＝7,068,000円〕	7,068,000	0	784,614,041
	大学事業費の決算に伴うもの〔大学事業費余剰分の増〕 ※予算額67,789,000円－積立済額67,788,197円	803	0	784,614,844
	普通交付税措置額の不足分〔施設整備事業〕	0	▲ 49,466,000	735,148,844
	普通交付税措置額の確定〔施設整備事業不足分の増〕 〔▲52,477,000円－▲49,466,000円＝▲3,011,000円〕	0	▲ 3,011,000	732,137,844
	施設整備事業費の減額補正〔施設整備事業不足分の減〕 〔▲45,258,000円－▲52,477,000円＝7,219,000円〕	0	7,219,000	739,356,844
	施設整備事業費の決算に伴うもの〔施設整備事業不足分の減〕 〔▲37,653,293円－▲45,258,000円＝7,604,707円〕	0	7,604,707	<b>746,961,551</b>
R05	利子	29,000	0	746,990,551
	普通交付税措置額の余剰分〔大学事業費〕	102,824,000	0	849,814,551
	運営費交付金に充当〔寄附金分の充当〕	0	▲ 2,000,000	847,814,551
	普通交付税措置額の確定〔大学事業費余剰分の増〕 〔127,292,000円－102,824,000円＝24,468,000円〕	24,468,000	0	<b>872,282,551</b>

# 山陽小野田市全図



線状降水帯  
2023.07.01

- ・被害家屋
- ・応急(土木)
- ・被害企業等
- ・応急(農林)
- ・崩土・倒木
- ・越水・冠水

災害応急		116件
うち	農林水産課	57件
	土木課	59件

# LABV事業による新施設内の「山陽小野田市民活動センター」配置図

一般会計予算決算常任委員会 総務文教分科会資料  
議案第57号 令和5年度一般会計補正予算（第6回）

資料 1

## 03 平面計画

異なる機能同士が独立しながらも半屋外の外部空間を通して緩やかな関係性でつながる分棟型の平面ゾーニングとします。

・1Fは道路に面した賑わいを創出するチャレンジショップと銀行、広場に面した市民活動センターとプライバシーに配慮した福祉センターの間に会議室を分散配置し、適度な距離感を保ちつつも内部の様子が見える構成としています。



2F

# 03 平面計画

異なる機能同士が独立しながらも半屋外の外部空間を通して緩やかな関係性でつながる分棟型の平面ゾーニングとします。

・2Fは銀行と商工会議所、地域職業相談室をまとめた「職」と関連性の高いゾーニングを築かず中央エントランスの上部は吹抜を介して縁側テラスとつながり独立した位置に200人が入れる大会議室を配置しています。



風の抜ける縁側テラス



芝生広場を囲うような建物形状

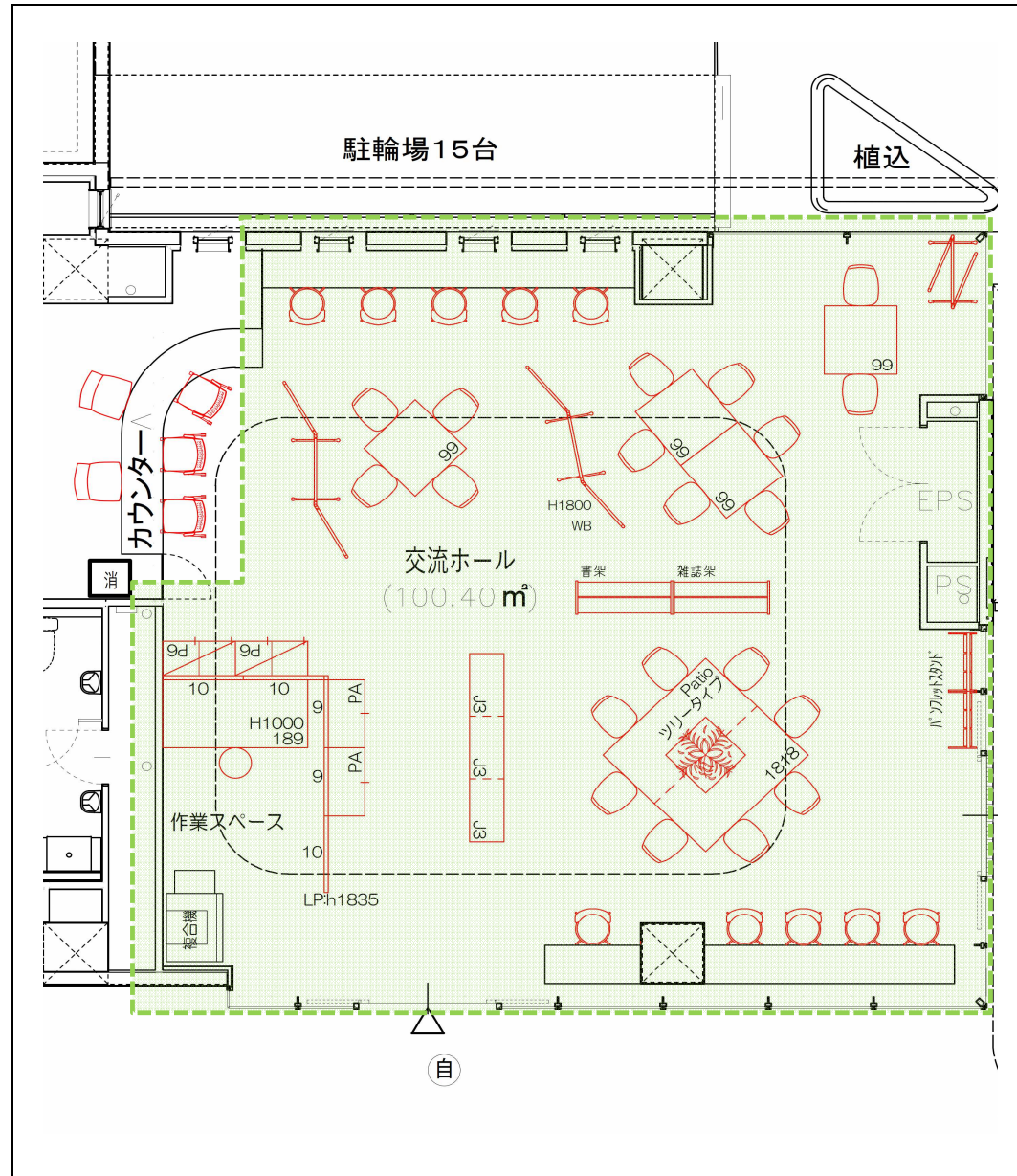


2Fの縁側ストリート

# 「山陽小野田市民活動センター」に整備する備品の参考品名及び配置図イメージ

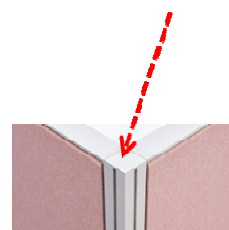
資料 2

## 1F 交流ホール



# 1F 交流ホール

1F 交流ホール



フレクセルII コーナーポスト90°

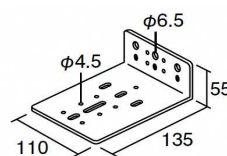
1F 交流ホール



- SAW  
本体色
- オートダイヤル
- 施錠タイプ  
扉トレイ付き
- 扉トレイ

収納庫 エディア 6人用ロッカー ゼロック

1F 交流ホール



- ホワイト  
本体色

壁固定金具 レベル1用

1F 交流ホール



- SAW  
本体色

収納庫 エディア トレーユニット A4深型3列13段

1F 交流ホール



- MT1  
天板色

システム収納 エディア 天板

1F 交流ホール



- SAW  
本体色

収納庫 エディア ダブルベース

1F 交流ホール



ホワイトボードスクリーン 3連

1F 交流ホール



- BK  
本体色

トレー型 パンフレットスタンド

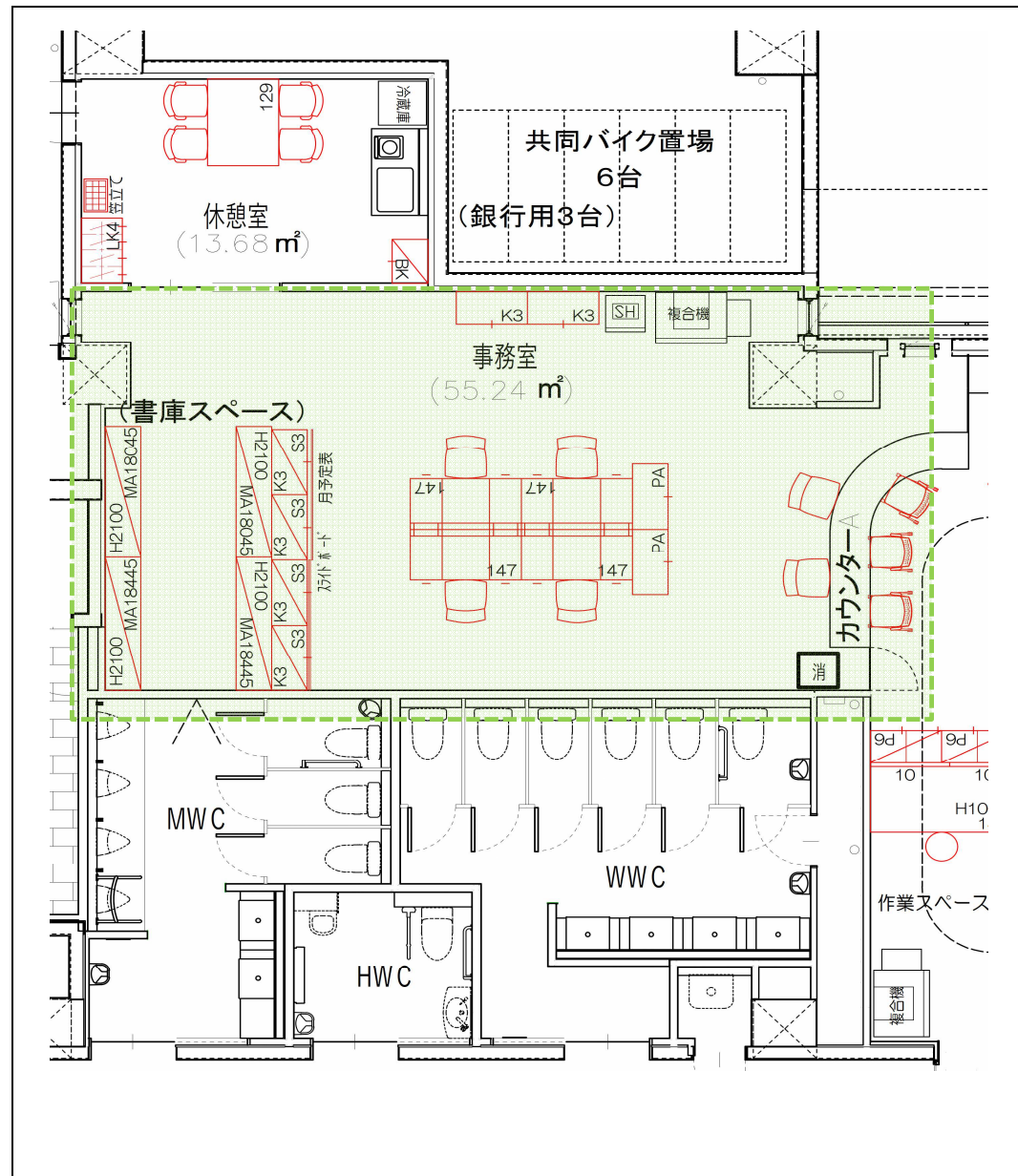
1F 交流ホール

裁断機

1F 交流ホール

ラミネーター

1F 事務室



オフィスチェア ウィザード4 ローバック肘無 樹脂脚



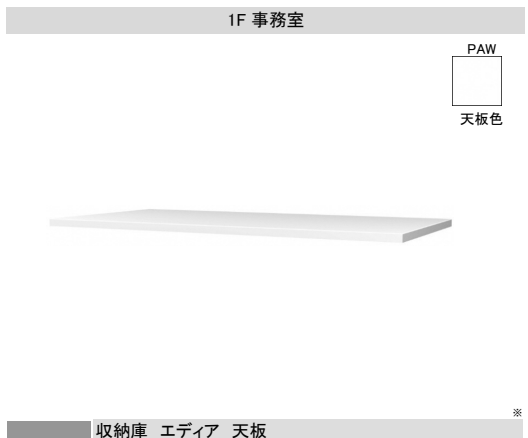
会議イス ビエガ 背クッション 塗装脚 ホワイトシェル



デスク IS 147CACA



オフィスチェア ウィザード4 ローバック肘無 樹脂脚



収納庫 エディア 天板



収納庫 エディア トレーユニット A4深型3列11段



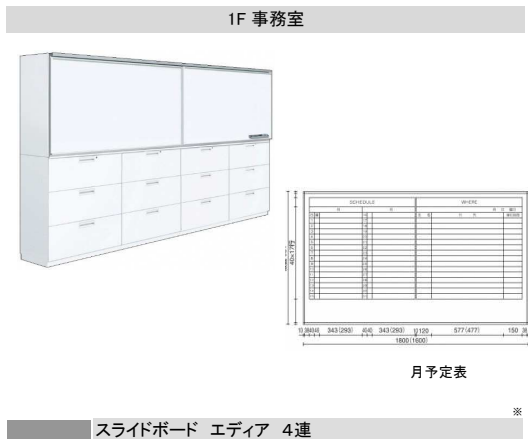
収納庫 エディア オープン 上/下置き



収納庫 エディア ダブルベース



収納庫 エディア オープン 上/下置き




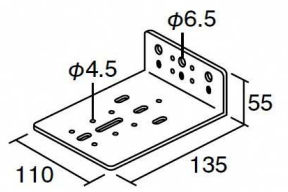




スライドボード エディア 4連



収納庫 エディア 両開き扉 下置き

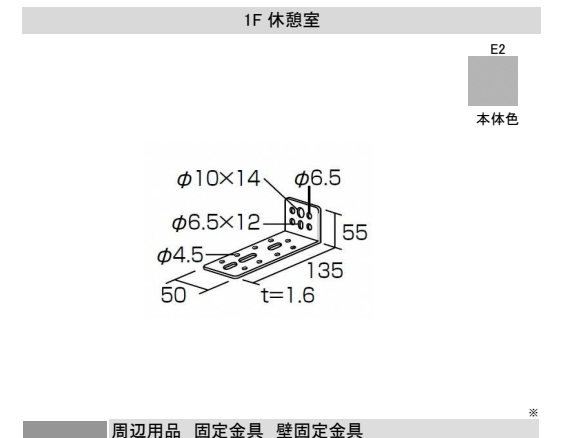
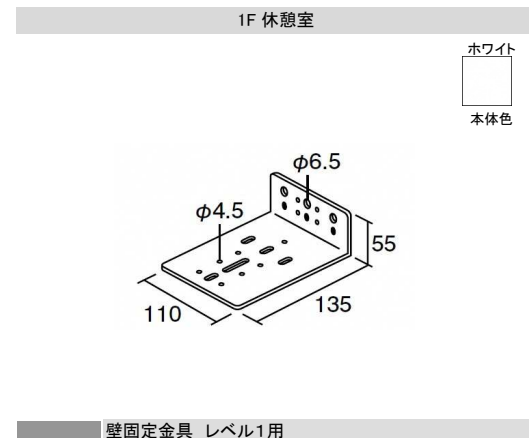
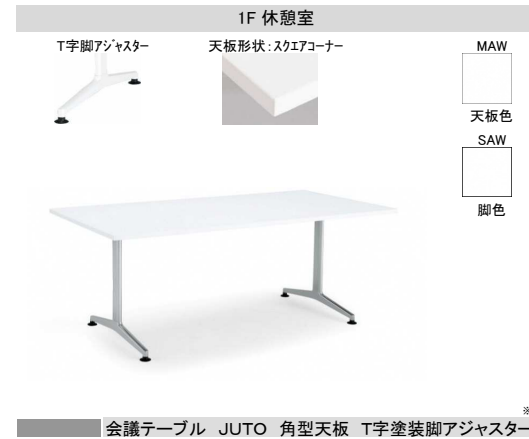
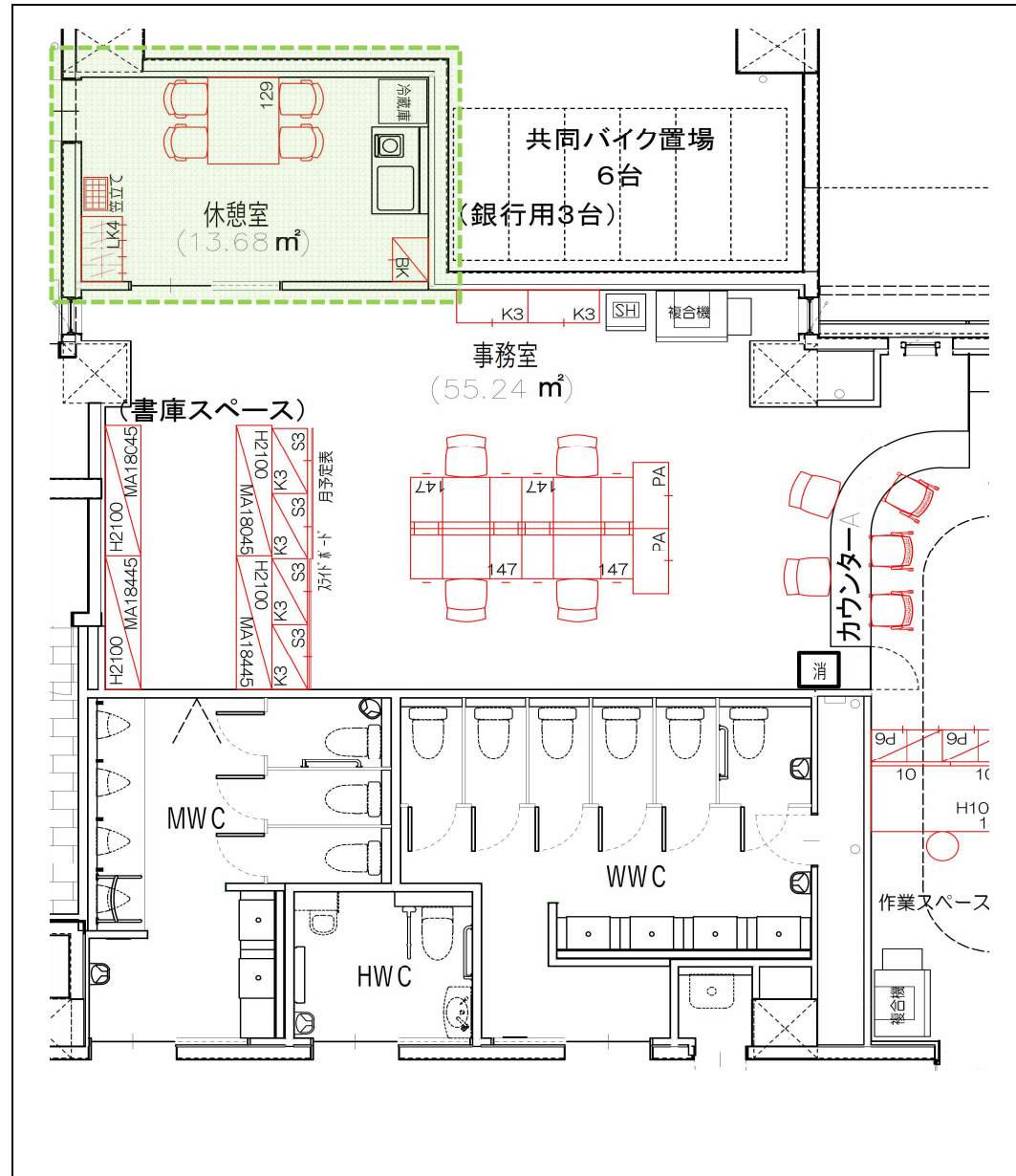


# 1F 事務室

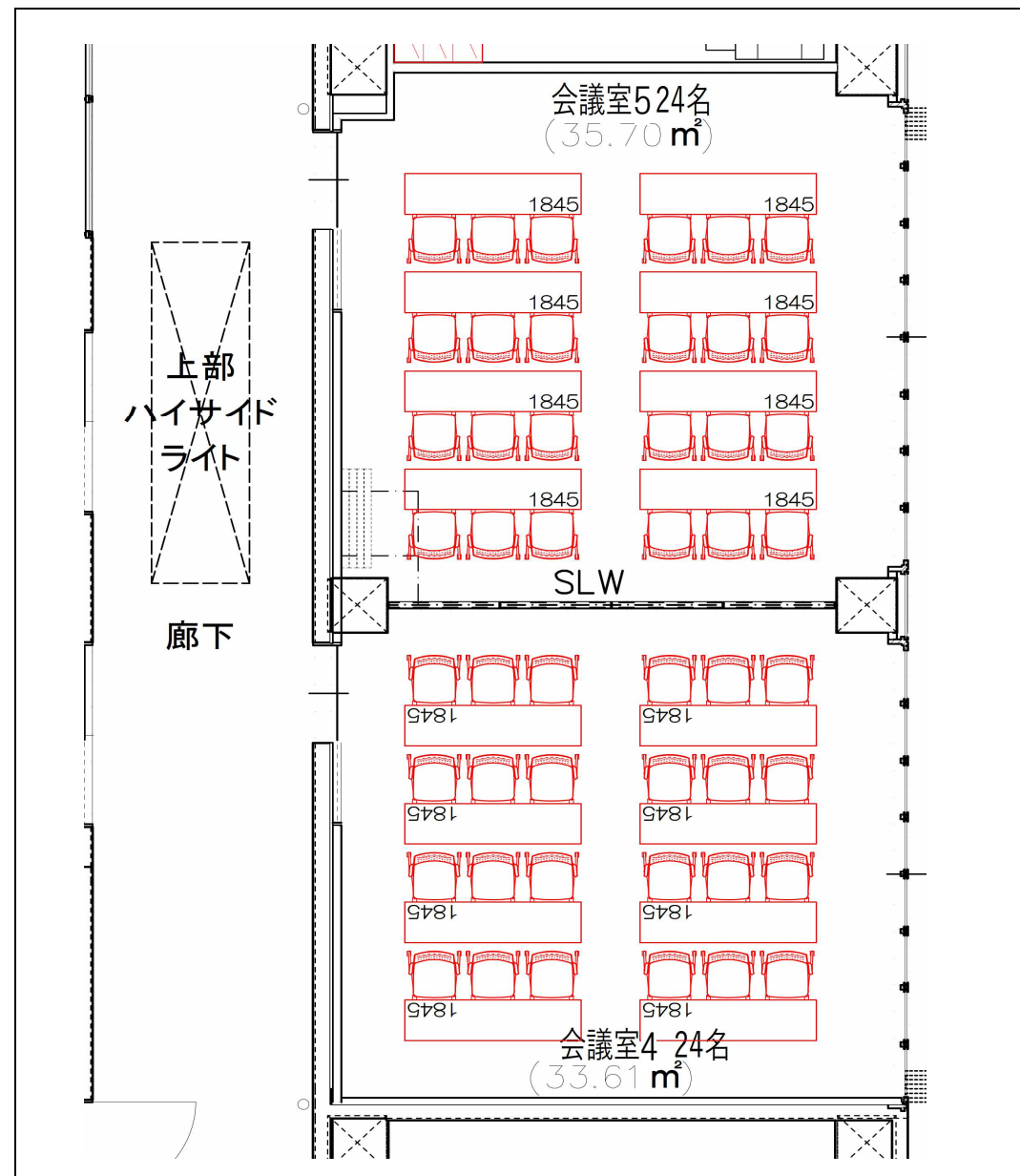
<p>1F 事務室</p>  <p>SAW 本体色</p>	<p>1F 事務室</p>  <p>φ4.5 φ6.5 110 135 55</p>	<p>1F 事務室</p>  <p>ホワイト 本体色</p> 	<p>1F 事務室</p> 	<p>1F 事務室</p> 
<p>収納庫 エディア ダブルベース</p>	<p>壁固定金具 レベル1用</p>	<p>中軽量ラック</p>	<p>中軽量ラック</p>	<p>ウォールプレート</p>

1F 事務室	
貸出用 備品	プロジェクター
	スクリーン
	プロジェクタースタンド
	液晶テレビ
	テレビスタンド
	webカメラ
	マイクスピーカー
	ワイヤレスアンプ
	ワイヤレスアンプチューナー
	ワイヤレスマイク
	マイクスタンド (床上型)
	マイクスタンド (卓上型)

# 1F 休憩室



1F 会議室4・5



1F 会議室1・2



フラップ天板会議テーブル リーフライン 幕板付・棚なし

1F 会議室1・2



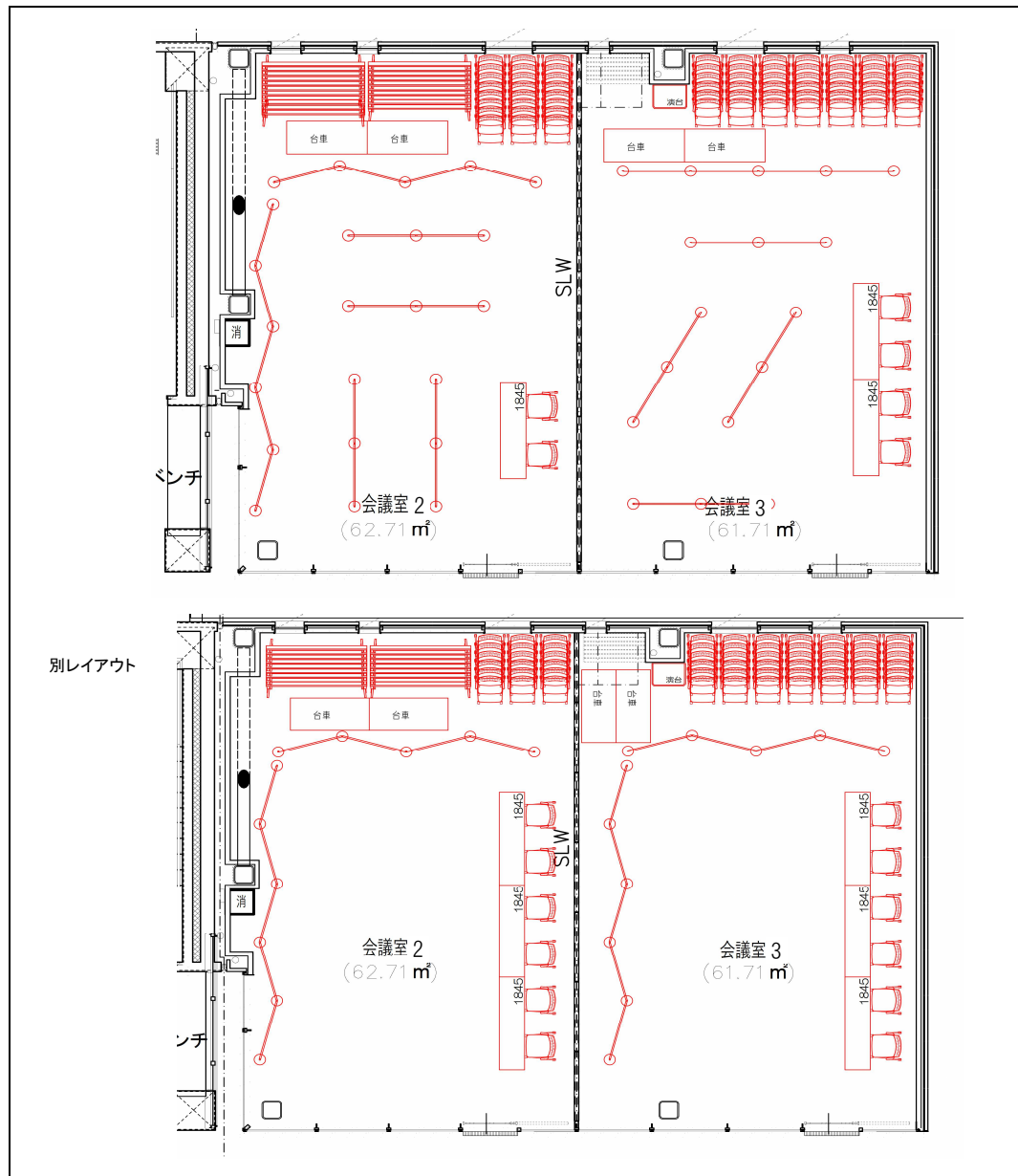
会議テーブル リーフライン 幕板棚なし

1F 会議室1・2



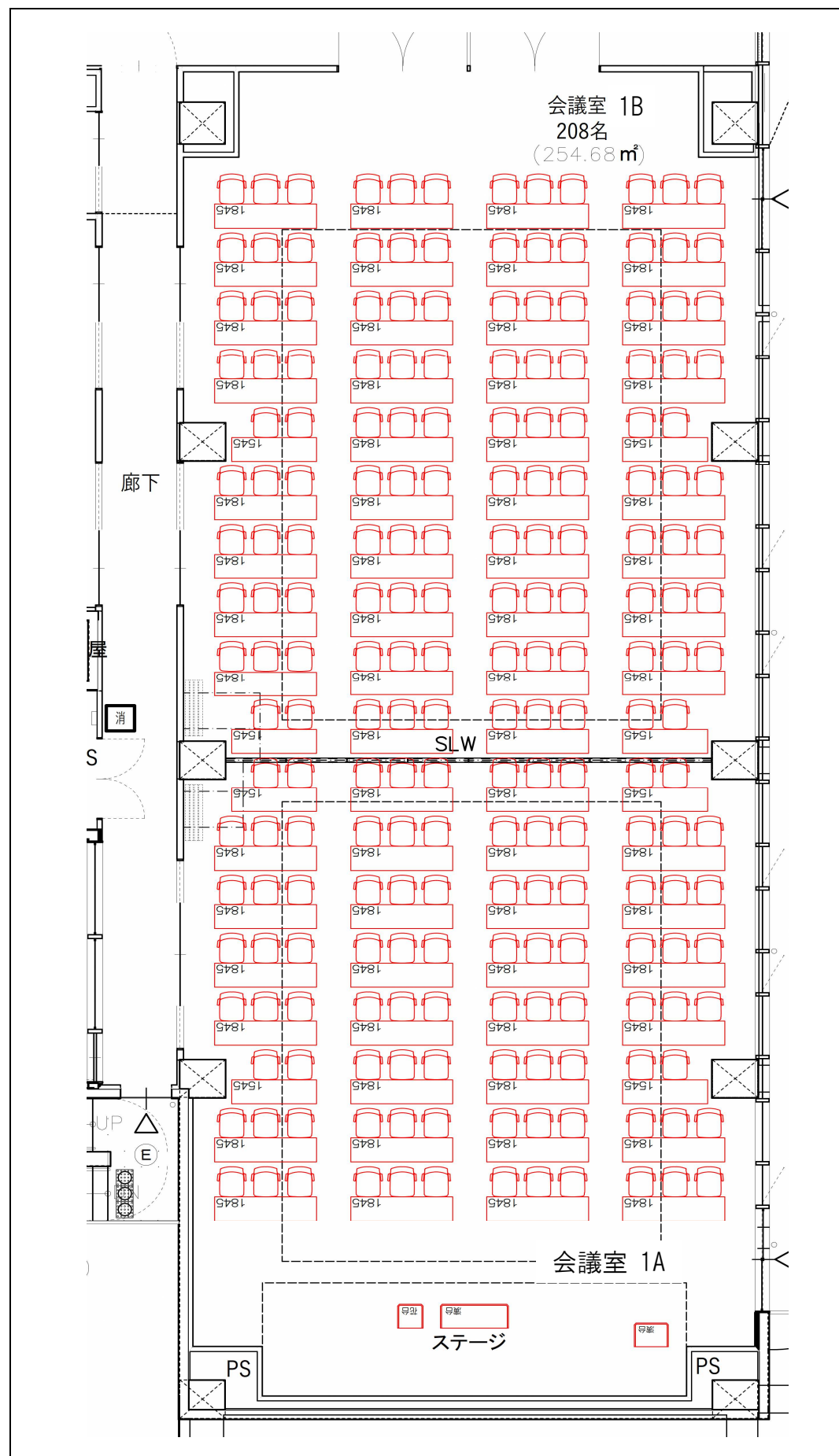
会議イス サテオ 背樹脂 ライトグレーシェル メッキ脚

1F 会議室2・3



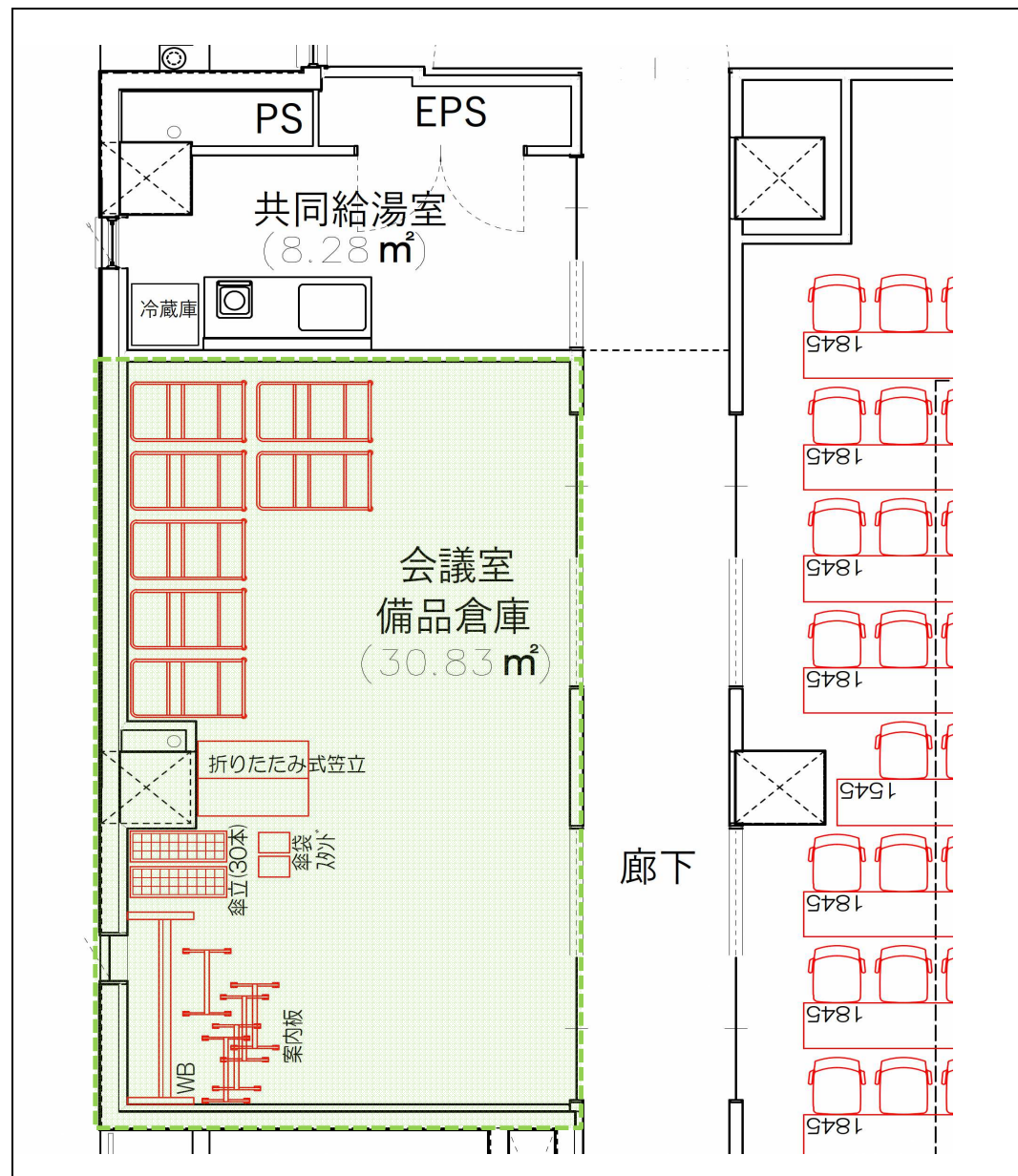
<p>1F 会議室3・4</p> <p>PAW 天板色</p> <p>フラップ天板会議テーブル リーフライン 幕板付・棚なし</p>	<p>1F 会議室3・4</p> <p>PAW 天板色</p> <p>会議テーブル リーフライン 幕板棚なし</p>	<p>1F 会議室3・4</p> <p>E2 背・本体色 VR07 座色</p> <p>会議イス サティオ 背樹脂 ライトグレーシェル メッキ脚</p>
<p>1F 会議室3・4</p> <p>T 本体色</p> <p>演台 18シリーズ 演台 W600</p>	<p>1F 会議室3・4</p> <p>HSNE1 パネル色</p> <p>コミュニケーションボード クロスパネル ※</p>	<p>1F 会議室3・4</p> <p>コミュニケーションボード ポール部材 ※</p>
<p>1F 会議室3・4</p> <p>コミュニケーションボード ベース部材 ※</p>	<p>1F 会議室3・4</p> <p>展示パネル アクテクス ワイヤーフック ※</p>	<p>1F 会議室3・4</p> <p>コミュニケーションボード 専用台車 ※</p>

2F 会議室1A・1B



<p>2F 会議室5</p>  <p>T 本体色</p> <p>演台 18シリーズ 演台 W1200</p>	<p>2F 会議室5</p>  <p>T 本体色</p> <p>演台 18シリーズ 演台 W600</p>	<p>2F 会議室5</p>  <p>T 本体色</p> <p>演台 18シリーズ 花台 W450</p>
<p>2F 会議室5</p>  <p>PAW 天板色</p> <p>フラップ天板会議テーブル リーフライン 幕板付・棚なし</p>	<p>2F 会議室5</p>  <p>PAW 天板色</p> <p>会議テーブル リーフライン 幕板棚なし</p>	<p>2F 会議室5</p>  <p>PAW 天板色</p> <p>会議テーブル リーフライン 幕板棚なし</p>
<p>2F 会議室5</p>  <p>E2 背・本体色 VR07 座色</p> <p>会議イス サティオ 背樹脂 ライトグレーシェル メッキ脚</p>		

2F 備蓄倉庫



2F 備蓄倉庫  
チェアポーター 一般小イス用



2F 備蓄倉庫  
アクセサリ 案内板 Lサイズ



2F 備蓄倉庫  
ホワイトボード R900シリーズ 回転型 両面無地



2F 備蓄倉庫  
アクセサリ 傘袋スタンド



2F 備蓄倉庫  
アクセサリ 傘袋



2F 備蓄倉庫  
アクセサリ フレーム型アルミ傘立て



2F 備蓄倉庫  
テラモト 折りたたみ式傘立

## <R5.9月補正の概要>

現在、各地域交流センターに配置を進めている「地域づくり支援員」（集落支援員）が業務で使用するパソコン、及び地域づくりweb会議等使用するパソコンを整備するための予算を補正するもの。

事業名	概要	予算費目	算出根拠	予算額（千円）
集落支援員設置事業	地域づくり支援員業務用パソコン及び会議用パソコンを整備する。	備品購入費	○地域づくり支援員業務用ノートパソコン 217,800円×11台=2,395,800円 ○地域づくりweb会議用ノートパソコン 148,500円×2台=297,000円	2,693
		使用料及び賃借料	地域づくり支援員用パソコン 保守・ウイルス対策ソフトライセンス一式 201,344円	202
			合 計	2,895

### ○集落支援員とは？

集落の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材を「集落支援員」として地方自治体が委嘱し、市町村職員と連携し、集落への目配りとして、集落の巡回、状況把握等を行う制度。  
本市では、名称を「**地域づくり支援員**」として、令和5年度から設置を進めている。

### ○地域づくり支援員の業務は？

- 1 地域運営組織の形成に向けた地域との話し合いの場や検討会の運営支援
- 2 地域運営組織形成後の事務局機能
- 3 地域課題の把握・分析と、課題の解決に向けた具体的方策のとりまとめ、検討
- 4 地域の巡回及び地域住民や団体、行政との連絡調整 など

### ○地域づくり支援員の配置は？

市内11地区に各1人の配置とし、各地域交流センターに配置を進めている。（計 11人配置予定）

## <特別交付税措置>

- 措置額 集落支援員1人あたりの上限額：445万円
- 対象経費 ①集落支援員の設置に要する経費（人件費等） ②集落の点検の実施に要する経費 ③集落における話し合いの実施に要する経費 ④地域の実情に応じた集落の維持・活性化対策に要する経費

## 第9回現代ガラス展事業計画

### 1 会 期

本展（おのだサンパーク）

令和5年7月8日（土）～8月26日（土） 50日間

特別作品展：萩展（山口県立萩美術館・浦上記念館）

令和5年9月16日（土）～12月3日（日） 79日間

特別作品展：東京展（上野の森美術館ギャラリー）

令和6年3月6日（水）～3月10日（日） 5日間

### 2 審査員

審査員長

横山尚人（ガラス造形家・日本ガラス工芸協会功労会員 元理事長）

審査員

隈 研吾（建築家）

ホンムラモトゾウ（ガラス造形家・日本ガラス工芸協会会員）

土屋良雄（サントリー美術館企画委員）

三輪龍氣生（十二代三輪休雪）（陶芸家）

### 3 各 賞

大 賞 1点 賞状・副賞 100万円（作品寄贈が条件）

優 秀 賞 1点 賞状・副賞 30万円

市 長 賞 1点 賞状・副賞 20万円

審査員賞 5点 賞状・副賞 10万円

冠スポンサー賞 12点 賞状・副賞 3万円

### 4 応募資格等

年 齢 令和5年1月1日現在45歳以下

国 籍 不問

出 品 料 5,000円

作品サイズ 高さ、幅、奥行の総計が500cm以内

送 料 等 搬入時は本人負担

返却時は実行委員会負担（ただし、国内に限る）

### 5 応募状況

応募作品数 61作品、うち入選49作品、うち受賞20作品

年齢 20～45歳（平均年齢：29.9歳）

応募地域 北海道～四国（九州を除く）



## ○現代ガラス展の入場者数一覧

年度	タイトル	場所	入場者数	期間	開催日数	1日平均	備考
平成12年度	日本の現代ガラス展	おのだサンパーク	不明	8/23-9/3	11日間	不明	
平成13年度	第1回現代ガラス展	きらら交流館	13,052人	9/1-9/30	26日間	502.0人	
平成14年度	竹内傳治遺作展	おのだサンパーク	11,118人	5/3-5/12	10日間	1,111.8人	
平成16年度	第2回現代ガラス展	おのだサンパーク	7,964人	8/21-9/20	29日間	274.6人	
平成18年度	第3回現代ガラス展	きらら交流館	4,857人	10/13-10/31	19日間	255.6人	
	国文祭 創造ガラス展		4,158人	11/3-11/12	10日間	415.8人	
平成21年度	第4回現代ガラス展	文化会館	7,070人	7/17-8/16	31日間	228.1人	
平成24年度	第5回現代ガラス展	おのだサンパーク	8,061人	7/7-8/26	51日間	158.1人	
平成27年度	第6回現代ガラス展	おのだサンパーク	9,425人	7/4-8/23	51日間	184.8人	
平成30年度	第7回現代ガラス展	おのだサンパーク	7,814人	7/7-8/26	51日間	153.2人	
	第7回現代ガラス展 特別作品展(萩展)	山口県立萩美術館 ・浦上記念館	1,740人	9/11-9/24	14日間	124.3人	
令和2年度	第8回現代ガラス展 (受賞作品展示)	不二輸送機ホール	174人	10/30-11/8	10日間	17.4人	
	第8回現代ガラス展	おのだサンパーク	-	-	-	-	コロナ禍で中止
	第8回現代ガラス展 特別作品展(萩展)	山口県立萩美術館 ・浦上記念館	-	-	-	-	コロナ禍で中止
	第8回現代ガラス展 特別作品展(東京展)	上野の森美術館 ギャラリー	789人	3/8-3/12	5日間	157.8人	
令和5年度	第9回現代ガラス展	おのだサンパーク	3,748人	7/8-8/26	50日間	74.96人	
	第9回現代ガラス展 特別作品展(萩展)	山口県立萩美術館 ・浦上記念館	-	9/16-12/3	79日間	-	
	第9回現代ガラス展 特別作品展(東京展)	上野の森美術館 ギャラリー	-	3/6-3/10	5日間	-	

**第9回現代ガラス展に係る収支計算書 (R5.8.26現在)**

【歳入】

予算費目	当初予算額	決算見込	差額	備考
入場料	3,260,000	2,393,100	-866,900	前売券、当日券 割引券
図録売上げ	150,000	157,000	7,000	
出品登録料	400,000	305,000	-95,000	5,000×61人
負担金	11,600,000	11,600,000	0	R4 3,000,000円 R5 8,600,000円
助成金	400,000	250,000	-150,000	野村財団
協賛広告料	1,600,000	280,000	-1,320,000	
企業スポンサー料	1,040,000	4,140,000	3,100,000	
個人サポーター料	500,000	527,000	27,000	
図録広告	150,000	0	-150,000	
販売手数料	560,000	417,780	-142,220	小物販売手数料
預金利息	1,000	31	-969	
雑収入	1,000	0	-1,000	
合計	19,662,000	20,069,911	407,911	

【歳出】

(本展)

予算費目	当初予算額	決算見込	差額	備考
報償費	3,155,000	3,105,000	50,000	賞金・謝礼
旅費	798,000	584,485	213,515	審査員・受賞者
委託料	10,565,000	12,598,657	-2,033,657	作品搬送業務委託料 SV契約・受付業務委託料 会場設営委託料 等
広告宣伝費	400,000	412,915	-12,915	新聞広告 等
印刷費	340,000	361,900	-21,900	募集要項等チラシ
会場使用料	400,000	0	400,000	
事務費	372,000	478,383	-106,383	
食料費	220,000	171,383	48,617	審査会報告会 作家交流会 等
賞賜金	10,000	42,000	-32,000	アンケート当選者 等
手数料	46,000	46,000	0	振込手数料 販売手数料
負担金	0	14,852	-14,852	個人サポーター割引
雑費	8,000	0	8,000	
予備費	10,000	0	10,000	
合計	16,324,000	17,815,575	-1,491,575	

**第9回現代ガラス展に係る収支計算書 (R5.8.26現在)**

【歳出】

(萩展)

予算費目	当初予算額	見積額	差額	備考
報償費	0	165,000	-165,000	-
報償金	0	55,000	-55,000	司会者謝礼
	0	20,000	-20,000	コンサート謝礼
	0	90,000	-90,000	トークショー謝礼
旅費	0	41,600	-41,600	-
普通旅費	0	41,600	-41,600	職員出張旅費(日当)
事務費	22,000	30,000	-8,000	-
消耗品費	22,000	20,000	2,000	上質紙(キャプション作成用)
通信運搬費	0	10,000	-10,000	郵送料
委託料	324,000	941,940	-617,940	-
広報物作成業務委託料	0	126,500	-126,500	入場パンフレット作成
作品搬送業務委託料	0	286,440	-286,440	作品入替作業(日本通運)
作品搬送業務委託料	324,000	529,000	-205,000	作品保管・搬送(日本通運)
合計	346,000	1,178,540	-832,540	

【歳出】

(東京展)

予算費目	当初予算額	見積額	差額	備考
旅費	500,000	500,000	0	-
S V旅費	200,000	200,000	0	
2 普通旅費	300,000	300,000	0	職員出張旅費(3/5-11)
事務費	92,000	100,000	-8,000	-
消耗品費	22,000	10,000	-8,000	チラシ等郵送用封筒
		20,000		上質紙(キャプション作成用)
通信運搬費	70,000	70,000	0	チラシ等送付メール便
広告宣伝費	100,000	100,000	0	-
広告宣伝費	100,000	100,000	0	広告掲載
委託料	1,800,000	2,318,480	-518,480	-
広報物作成業務委託料	100,000	110,000	-10,000	チラシ、ポスター等作成
作品搬送業務委託料	1,500,000	1,678,480	-178,480	作品搬送(谷中田美術)
	200,000	530,000	-330,000	作品保管料(日本通運)
会場使用料	500,000	440,000	60,000	-
会場借上料	500,000	440,000	60,000	会場使用料(5日分)
合計	2,992,000	3,458,480	-466,480	

## くきららガラス未来館 浄化槽について

くきららガラス未来館 浄化槽（平成16年設置：19年経過）

※一般的な寿命15～20年

10年前に一度ブローカー扉の塗装を実施済み

### 【浄化槽（ブローカー庫）の更新について】

令和5年7月の豪雨により雨水がブローカー庫に入り込み、端子材が水に濡れたことによりブレーカーが落ちる。また、ブローカー庫下部からの雨水の浸水により、浄化槽の一部である「ばっ気用ブローカー（※）」の2系統のうち1系統が故障した。

乾燥させたところ端子材については復旧したが、ブローカー庫の鉄製の扉は至るところが塩害で錆びて朽ちているため、今後も雨水が入りやすく、また下部からの雨水の浸水により、ばっ気用ブローカーがさらに故障する恐れがある。

ブローカー庫の中のファンも故障しており、外側についている換気口も雨が入らないようにビニールで覆っているため、熱や湿気がこもりやすく、電子機器の環境として好ましくない状況が続いている。

加えて、一度水で濡れている端子材も錆びやすく、設置状況からも全体的に老朽化が進んでおり、早急に更新を図る必要がある。

なお、浄化槽が故障するとトイレの使用ができず未来館に来られるお客様にも迷惑がかかり、異臭も生じる。そのまま使用すると汚水が海に流れてしまい、環境にも悪く、近隣住民にも迷惑がかかる。

現在ブローカー庫は鉄製であるため、同じことが起こらないようステンレス製（鉄製より高価）にするのが望ましいと業者から進言されたものの、昨今の半導体製造や物流事情により、機器の取り寄せに半年近くかかることが予想される。そのため、取り急ぎ、故障中のばっ気用ブローカーを修繕し、ブローカー庫の更新に備えることとする。

### ※ばっ気用ブローカーとは

ばっ気槽の中に、空気を送り汚水を攪拌（酸素を水中に溶かす）させると同時に酸素を好む微生物を繁殖させるためにブローカー（エアポンプ）が必要である。ばっ気用ブローカーが故障すると短時間に酸素を好む微生物が死滅し、悪臭を発するようになる。

【きららガラス未来館 浄化槽のブロー庫】



<扉の錆び部分>



<ばっ気用ブロー>



## 【パラサイクリングのまち PR 事業】

### パラサイクリングを通じた障がい者にやさしいまちづくり講演会事業の概要

#### 1 目的

山陽小野田市では、平成28年から山陽オートレース場を拠点として、パラサイクリング日本代表選手・スタッフとの交流を継続しており、子供から高齢者まで、また健常者も障がい者も、誰もが主役のまちづくりを目指して取組を進めており、パラサイクリング日本代表選手による講演会を開催することで、障がい者スポーツへの関心を深め、健常者も障がい者も関係なくスポーツを楽しむ環境について共に考え、地域に暮らす誰もが暮らしやすく、活躍できる共生社会の実現に向けて事業を実施します。

#### 2 計画

令和5年10月～令和6年2月 講演会の開催準備～講演会の開催  
 令和6年3月 講演会終了後、実績報告

#### 3 実施方法

市民を対象とした講演会の開催

講師：パラサイクリング日本代表選手 杉浦 佳子 氏

会場：市内商業施設

対象：市民ほか

参加料：無料

#### 4 事業経費

科目	内 訳	金額
謝 金	講師謝礼 400,000 円 うち助成対象@50,000 円×1 人	400,000 円
旅 費	講師・スタッフ普通旅費 @100,000 円×2 人 ※東京～山陽小野田市までの旅費	200,000 円
通信運搬費		— 円
賃借料	会場使用料 200,000 円	200,000 円
印刷製本費	チラシ印刷代 @30 円×5,000 枚	150,000 円
消耗品費	会場装飾等	50,000 円
合 計		1,000,000 円

#### 5 歳 入

令和5年度人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金 650千円

### 運営費交付金等の推移について

■ 平成28年度～令和4年度の金額は決算額、令和5年度は9月補正時の金額です。学生数は、毎年5月1日現在の人数です。

自主財源・運営費交付金・補助金		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
大学予算(決算)額		1,542,651,000円	2,274,835,000円	2,674,446,000円	2,525,804,000円	2,509,209,000円	2,639,753,000円	3,285,563,000円	3,582,237,000円
自主財源	金額	771,628,000円	729,750,000円	1,131,531,000円	988,281,000円	842,797,000円	911,112,000円	1,376,618,000円	1,604,716,000円
	割合	50.0%	32.1%	42.3%	39.1%	33.6%	34.5%	40.7%	44.8%
運営費交付金	金額	771,023,000円	1,545,085,000円	1,542,915,000円	1,537,523,000円	1,590,987,000円	1,645,940,000円	1,620,304,000円	1,743,628,000円
	割合	50.0%	67.9%	57.7%	60.9%	63.4%	62.4%	49.3%	48.7%
授業料等減免補助金	金額					75,425,000円	82,701,000円	84,360,000円	103,917,000円
	割合					3.0%	3.1%	2.6%	2.9%
施設整備補助金	金額							204,281,000円	129,976,000円
	割合							6.2%	3.6%

工学部		トップランナー方式(※1)							
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
普通交付税	単価	1,694,970円	1,644,800円	1,602,540円	1,534,100円	1,504,800円	1,457,960円	1,460,760円	1,461,760円
	対前年度		▲3.0%	▲2.6%	▲4.3%	▲1.9%	▲3.1%	0.2%	0.1%
学生数(899人)		922人	971人	1,004人	924人	889人	893人	902人	973人
1年(260人)(※2)		221人	204人	211人	223人	208人	219人	220人	292人
2年(200人)		361人	219人	201人	209人	221人	196人	224人	226人
3年(200人)		180人	382人	285人	231人	235人	244人	218人	219人
4年(200人)		134人	136人	282人	224人	185人	194人	198人	185人
小計(860人)		896人	941人	979人	887人	849人	853人	860人	922人
大学院(39人)		26人	30人	25人	37人	40人	40人	42人	51人
普通交付税措置額		1,562,762,340円	1,597,100,800円	1,608,950,160円	1,417,508,400円	1,337,767,200円	1,301,958,280円	1,317,605,520円	1,422,292,480円
対前年度増減額			34,338,460円	11,849,360円	▲191,441,760円	▲79,741,200円	▲35,808,920円	15,647,240円	104,686,960円

薬学部		トップランナー方式(※1)							
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
普通交付税	単価			1,832,220円	1,777,440円	1,721,400円	1,687,560円	1,663,800円	1,667,320円
	対前年度				▲3.0%	▲3.2%	▲2.0%	▲1.4%	0.2%
学生数(720人)				119人	261人	378人	487人	597人	714人
1年(120人)				119人	148人	124人	125人	128人	129人
2年(120人)					113人	147人	118人	120人	147人
3年(120人)						107人	140人	113人	102人
4年(120人)							104人	133人	109人
5年(120人)								103人	124人
6年(120人)									103人
普通交付税措置額				218,034,180円	463,911,840円	650,689,200円	821,841,720円	993,288,600円	1,190,466,480円
対前年度増減額					245,877,660円	186,777,360円	171,152,520円	171,446,880円	197,177,880円

※1 トップランナー方式：地方交付税の算定基礎となる単位費用の一部の積算に、民間委託等による合理化の要素を反映させたもの〔公立大学：平成29年度～令和3年度の5年間で約15%の削減〕

※2 令和5年4月工学部数理情報科学科新設(入学定員60名増)

総数(額)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生総数		922人	971人	1,123人	1,185人	1,267人	1,380人	1,499人	1,687人
普通交付税措置額【R2からの新制度】 授業料等減免分⇒		1,562,762,340円	1,597,100,800円	1,826,984,340円	1,881,420,240円	1,988,456,400円	2,123,800,000円	2,310,894,120円	2,612,758,960円
						135,661,848円	130,899,797円	134,260,861円	126,101,307円
対前年度増減額			34,338,460円	229,883,540円	54,435,900円	242,698,008円	130,581,549円	190,455,184円	293,705,286円





## 公立大学法人運営基金の推移について

歳入歳出決算書 P386

年度	内 容	積立額	取崩額	基金残高
H28	学校法人からの施設整備負担金の余剰金 〔607,829,597円－322,814,000円＝残額285,015,597円〕	285,015,597	0	285,015,597
	寄附金〔メスキュード医療安全基金〕 ※H27年度分収入	1,500,000	0	286,515,597
	普通交付税措置額の余剰分 〔1,562,762,000円－448,209,000円－51,200,000円〕	1,063,353,000	0	<b>1,349,868,597</b>
H29	利子	3,031	0	1,349,871,628
	利子	6,730	0	1,349,878,358
	運営費交付金に充当〔財源は学校法人からの施設整備負担金： 285,015,597円－47,457,000円＝残高237,558,597円〕	0	▲ 47,457,000	1,302,421,358
	運営費交付金に充当〔普通交付税不足分の補てん〕	0	▲ 169,487,000	1,132,934,358
	校舎建設費に充当〔1,562,762,000円×20%－51,200,000円〕 ※ H28年度分の充当残額	0	▲ 261,352,000	<b>871,582,358</b>
H30	利子	4,660	0	871,587,018
	利子	4,345	0	871,591,363
	運営費交付金に充当〔財源は学校法人からの施設整備負担金：残額 0円〕	0	▲ 237,558,597	634,032,766
	普通交付税措置額の余剰分 〔1,822,800,000円－364,560,000円－1,304,856,000円－ 31,103,000円〕	122,281,000	0	756,313,766
	普通交付税措置額の余剰分(追加) 〔(1,826,984,000円－1,822,800,000円)×0.8＝3,347,200円 ※千円未満切上〕	3,348,000	0	759,661,766
	寄附金の積立〔H28 メスキュード医療安全基金100万円、H29 メ スキュード医療安全基金50万円、H30 企業100万円〕	2,500,000	0	762,161,766
	大学関連事業費(理科大生市内定住促進事業費)の減額に伴うもの ※決算〔21,103,000円－7,163,000円＝13,940,000円〕	13,940,000	0	<b>776,101,766</b>
R01	利子	2,598	0	776,104,364
	利子	2,373	0	776,106,737
	利子	601,643	0	776,708,380
	寄附金の積立〔H30 メスキュード医療安全基金100万円、R01 企 業100万円〕	2,000,000	0	778,708,380
	運営費交付金に充当〔財源は寄附金。工学部：2,000,000円、薬学 部：2,000,000円〕※メスキュード医療安全基金分300万円、企業 分100万円	0	▲ 4,000,000	774,708,380
	運営費交付金に充当〔普通交付税措置額から校舎建設費、運営費交 付金、その他大学関連経費を差し引いて不足する額〕	0	▲ 78,306,000	696,402,380
	普通交付税措置額の確定〔普通交付税不足分の減〕 〔(1,881,420,000円－1,845,013,000円)×0.8＝29,125,600円〕※ 千円未満切捨	0	29,125,000	725,527,380
	大学関連事業費(理科大生市内定住促進事業費)の減額に伴うもの ※決算〔20,794,000円－5,157,625円＝15,636,375円〕	0	15,636,375	<b>741,163,755</b>

## 公立大学法人運営基金の推移について

歳入歳出決算書 P386

年度	内 容	積立額	取崩額	基金残高
R02	利子	3,482	0	741,167,237
	利子	3,837	0	741,171,074
	寄附金の積立〔R01：メスキュード医療安全基金分100万円、R02：企業分100万円、個人5万円〕	2,050,000	0	743,221,074
	運営費交付金に充当〔普通交付税不足分の充当〕	0	▲ 53,447,000	689,774,074
	普通交付税措置額の確定〔普通交付税不足分の減〕 〔2,124,118,000円－2,021,530,000円－55,756,000円＋6,615,000円＝53,447,000円〕	0	53,447,000	743,221,074
	普通交付税措置額の余剰分 〔2,124,118,000円－397,691,000円－1,590,987,000円－71,713,000円－7,971,000円＝55,756,000円〕	55,756,000	0	798,977,074
	授業料等減免補助金に充当〔普通交付税余剰分の減〕 〔71,713,000円－87,749,000円＝▲16,036,000円〕	▲ 16,036,000	0	<b>782,941,074</b>
R03	利子	3,666	0	782,944,740
	利子	4,053	0	782,948,793
	寄附金の積立〔R03：企業分100万円〕	1,000,000	0	783,948,793
	運営費交付金に充当〔普通交付税不足分の補てん〕	0	▲ 110,120,000	673,828,793
	運営費交付金に充当〔寄附金分の充当〕	0	▲ 4,050,000	669,778,793
	普通交付税措置額の確定〔普通交付税不足分の減〕 〔2,254,700,000円－2,226,358,000円＋1,726,000円＝30,068,000円〕	0	30,068,000	699,846,793
	授業料等減免補助金及び理科大生市内定住促進事業費の減額に伴うもの ※決算〔103,735,000円－86,763,255円＝16,971,745円〕	0	16,971,745	<b>716,818,538</b>
R04	利子	3,732	0	716,822,270
	利子	3,574	0	716,825,844
	公立大学法人納付金	50,197	0	716,876,041
	寄附金の積立〔R04：企業分100万円〕	1,000,000	0	717,876,041
	普通交付税措置額の余剰分〔大学事業費〕	17,507,000	0	735,383,041
	普通交付税措置額の確定〔大学事業費余剰分の増〕 〔59,670,000円－17,507,000円＝42,163,000円〕	42,163,000	0	777,546,041
	大学事業費の減額補正〔大学事業費余剰分の増〕 〔11,642,000円－4,574,000円＝7,068,000円〕	7,068,000	0	784,614,041
	大学事業費の決算に伴うもの〔大学事業費余剰分の増〕 ※予算額67,789,000円－積立済額67,788,197円	803	0	784,614,844
	普通交付税措置額の不足分〔施設整備事業費〕	0	▲ 49,466,000	735,148,844
	普通交付税措置額の確定〔施設整備事業費不足分の増〕 〔▲52,477,000円－▲49,466,000円＝▲3,011,000円〕	0	▲ 3,011,000	732,137,844
	施設整備事業費の減額補正〔施設整備事業費不足分の減〕 〔▲45,258,000円－▲52,477,000円＝7,219,000円〕	0	7,219,000	739,356,844
	施設整備事業費の決算に伴うもの〔施設整備事業費不足分の減〕 〔▲37,653,293円－▲45,258,000円＝7,604,707円〕	0	7,604,707	<b>746,961,551</b>

令和4年度決算 大学費【歳出】関係について

2款 総務費 1項 総務管理費 8目 財産管理費		歳入歳出決算書 P152・P153				
節	細 節	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	
24	積立金	公立大学法人運営基金積立金	28,000	7,306	0	20,694
説明	預金利息 普通預金(交付税分) 3,719円+3,569円=7,288円 普通預金(その他分:寄附金等) 13円+5円=18円 ※ 令和4年度末の公立大学法人運営基金残高:746,961,551円(交付税分:744,956,673円、その他分:2,004,878円) 歳入:17款 財産収入 1項 財産運用収入 2目 利子及び配当金 1節 利子及び配当金 基金運用収入 7,306円					
2款 総務費 7項 大学費 1目 大学費		大学事業	大学事業費	歳入歳出決算書 P198~P201		
節	細 節	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	
1	報酬	委員報酬	144,000	24,000	0	120,000
説明	〈当初予算〉 会議開催 6回、委員報酬 4,000円×6人×6回=144,000円 山陽小野田市公立大学法人評価委員会 委員数3人(うち1人は委員報酬を辞退)(条例の委員定数は6人以内) 会議開催実績3回					
8	旅費	普通旅費	58,000	0	0	58,000
説明	全国公立大学設置団体協議会総会へ出席(静岡県、1人、1泊2日)するための費用。 ※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、静岡県での開催は中止となり、書面審議による総会となった。					
10	需用費	消耗品費	45,000	0	0	45,000
説明	-					
12	委託料	不動産鑑定評価委託料	814,430	814,000	0	430
		登記業務委託料	427,570	427,570	0	0
説明	不動産鑑定評価委託料:令和5年度に公立大学法人に出資する土地及び建物についての不動産鑑定評価 登記業務委託料:出資に当たり、登記地積と実測に相違がある土地についての更正及び隣接3筆の土地との合筆登記					
18	負担金、補助及び交付金	運営費交付金	1,620,304,000	1,620,304,000	0	0
		公立大学設置団体協議会負担金	20,000	0	0	20,000
		授業料等減免補助金	92,703,000	84,360,300	0	8,342,700
説明	運営費交付金:1,620,304,000円(①-②-③-④) ① 公立大学法人の令和4年度決算額:3,285,563,000円 財源内訳:② 授業料等減免補助金:84,360,300円、③ 施設整備費補助金:204,281,000円 ④ 公立大学法人の自主財源:1,376,617,700円 公立大学設置団体協議会負担金:0円 全国公立大学設置団体協議会(R4.5.1現在:公立大学数99校、うち法人化89大学(81法人)) ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、全国公立大学設置団体協議会の令和3年度活動経費が計画を下回り、令和4年度への繰越金が増加したため、書面決議により令和4年度の負担金は徴収されないことになった。 授業料等減免補助金:84,360,300円(①+②) ① 入学金減免額:10,152,000円、② 授業料減免額:74,208,300円					
24	積立金	公立大学法人運営基金積立金	67,789,000	67,789,000	0	0
説明	公立大学法人運営基金積立金 67,789,000円(①+②+③) ① 寄附金の積立:1,000,000円 ・株式会社ライジングホールディングス:1,000,000円 H30:1,000,000円、R1:1,000,000円、R2:1,000,000円、R3:1,000,000円、R4:1,000,000円 ※ 歳入:18款 寄附金 1項 寄附金 4目 総務費寄附金 1節 総務費寄附金 総務費寄附金 1,000,000円 ② 公立大学法人納付金の積立:50,197円 ※ 第1期中期目標期間の最終年度である令和3年度の公立大学法人決算における積立金のうち、第2期中期目標期間に繰り越すことなく、市に納付されたもの ③ 普通交付税措置額余剰額の積立:66,738,803円 ・交付税措置額:2,445,155,000円=2,310,894,000円(運営費分)+134,261,000円(授業料等減免分)【千円未満四捨五入】 ① 運営費分積立額:24,670,595円=2,310,894,000円(交付税額)-660,836,000円(校舎建設費に充当) -1,620,304,000円(運営費交付金交付額)-5,083,405円(その他大学事業) ② 授業料等減免分積立額:49,900,700円=134,261,000円(交付税額)-84,360,300円(授業料等減免額) ⇒積立可能額74,571,295円(①+②)のうち、66,738,803円(予算額67,789,000円-① 1,000,000円-② 50,197円)を積立て					
計 ㊦			1,782,305,000	1,773,718,870	0	8,586,130

2款 総務費 7項 大学費 1目 大学費		大学整備業務	大学校舎建設事業費		歳入歳出決算書 P198~P201	
節	細 節	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	
3	職員手当等	時間外勤務手当	200,000	0	0	200,000
説明	—					
8	旅費	普通旅費	63,000	0	0	63,000
説明	—					
10	需用費	消耗品費	10,000	1,556	0	8,444
		燃料費	24,000	10,214	0	13,786
		修繕料	9,987,222	2,970,000	0	7,017,222
説明	消耗品費：事務用品購入 燃料費：リース公用車ガソリン代 修繕料：薬学部外壁復旧 ※大学6号館の飾り壁7枚を付け替えた。					
11	役務費	保険料	274,778	274,778	0	0
説明	自動車損害共済基金分担金：11,520円、建物総合損害共済基金分担金：263,258円					
12	委託料	法律相談業務委託料	300,000	0	0	300,000
説明	—					
13	使用料及び賃借料	機械器具借上料	172,000	171,600	0	400
説明	公用車リース料：14,300円×12月=171,600円〔リース期間：R3.11.1~R5.10.31(2年間)〕					
18	負担金、補助及び交付金	施設整備補助金	204,281,000	204,281,000	0	0
		テレビ共同受信施設組合負担金	94,000	93,600	0	400
説明	施設整備補助金：204,281,300円(①+②) ① グラウンド整備事業：124,300,000円、② 駐車場・テニスコート整備事業：79,981,000円 小野田テレビ共同受信施設組合(薬学部増築工事に伴う電波障害への対応) 300円(戸建て)×2戸×12月+3,600円(集合住宅)×2棟×12月=93,600円					
<b>計 ⑥</b>			<b>215,406,000</b>	<b>207,802,748</b>	<b>0</b>	<b>7,603,252</b>
<b>7項 大学費 1目 大学費の合計(④+⑥)</b>			<b>1,997,711,000</b>	<b>1,981,521,618</b>	<b>0</b>	<b>16,189,382</b>

(参考) 7項 大学費における事業別の支出済額

節	細 節	大学事業費	大学校舎 建設事業費	合 計	不用額
1	報酬	委員報酬	24,000	24,000	120,000
3	職員手当等	時間外勤務手当	0	0	200,000
8	旅費	普通旅費	0	0	121,000
10	需用費	消耗品費	0	1,556	53,444
		燃料費	0	10,214	13,786
		修繕料	0	2,970,000	7,017,222
11	役務費	保険料	274,778	0	0
12	委託料	不動産鑑定評価業務委託料	814,000	0	430
		登記業務委託料	427,570	0	0
		法律相談業務委託料	0	0	300,000
13	使用料及び賃借料	機械器具借上料	171,600	171,600	400
18	負担金、補助及び交付金	施設整備補助金	0	204,281,000	0
		テレビ共同受信施設組合負担金	0	93,600	400
		運営費交付金	1,620,304,000	0	0
		公立大学設置団体協議会負担金	0	0	20,000
24	積立金	授業料等減免補助金	84,360,300	0	8,342,700
		公立大学法人運営基金積立金	67,789,000	0	0
合 計			207,802,748	1,981,246,840	16,189,382

## 令和4年度決算 大学費【歳入】関係について

17款 財産収入 1項 財産運用収入 2目 利子及び配当金			歳入歳出決算書 P106・P107
節	細節	予算現額	収入済額
1	利子及び配当金	基金運用収入	28,000 7,306
説明	預金利息：7,306円（基金運用収入153,548円の内数） ① 普通預金（交付税分） 3,719円+3,569円=7,288円 ② 普通預金（その他分） 13円+ 6円= 18円 〈当初予算〉 698,871,074円（公立大学法人運営基金残高）×0.004%=27,954.8429…≒28,000円 歳出：2款 総務費 1項 総務管理費 8目 財産管理費 24節 積立金 公立大学法人運営基金積立金		

18款 寄附金 1項 寄附金 4目 総務費寄附金			歳入歳出決算書 P106・P107
節	細節	予算現額	収入済額
1	総務費寄附金	総務費寄附金	1,000,000 1,000,000
説明	総務費寄附金：1,000,000円（総務費寄附金8,000,000円の内数） 株式会社ライジングホールディングス 1,000,000円〔R4.10.4 寄附採納式〕 ※ 寄附の実績 H30：100万円、R01：100万円、R02：100万円、R03：100万円、R04：100万円		

19款 繰入金 1項 基金繰入金 9目 公立大学法人運営基金繰入金			歳入歳出決算書 P110・P111
節	細節	予算現額	収入済額
1	公立大学法人運営基金繰入金	公立大学法人運営基金繰入金	45,258,000 37,653,293
説明	公立大学法人運営基金繰入金：37,653,293円（I） ① 普通交付税措置額（運営費分）：2,310,894,120円（A+B）→2,310,894,000円 A 工学部 1,460,760円×902人=1,317,605,520円 B 薬学部 1,663,800円×597人= 993,288,600円 ② 大学校舎建設事業費への充当額：660,836,000円（C+D） C 工学部の2割 A×0.2=263,521,104円→263,521,000円 D 薬学部の4割 B×0.4=397,315,440円→397,315,000円 ③ 大学校舎建設事業費決算額（一般財源分）：54,602,748円 （大学校舎建設事業費決算額 207,802,748円－大学整備事業債 153,200,000円） ④ 地方債元利償還金：643,886,545円 I：差引不足額：37,653,293円（②－③－④）		

21款 諸収入 4項 雑入 3目 雑入			歳入歳出決算書 P118・P119
節	細節	予算現額	収入済額
2	総務費雑入	公立大学法人納付金	51,000 50,197
説明	公立大学法人納付金：50,197円（①－②） 第1期中期目標期間の最終年度である令和3年度の公立大学法人決算における積立金のうち、第2期中期目標期間に繰り越すことなく、市に納付されたもの ① 公立大学法人積立金（R4.3.31時点）：1,195,769,883円 ② 第2期中期目標期間への繰越額：1,195,719,686円		

22款 市債 1項 市債 1目 総務債			歳入歳出決算書 P126・P127
節	細節	予算現額	収入済額
2	大学債	大学整備事業債	153,200,000 153,200,000
説明	大学整備事業債：153,200,000円＝事業費（適債経費）204,281,000円（①+②）×0.75 （学校教育施設等整備事業債：事業費（適債経費）×75%（起債充当率）【10万円未満切り捨て】） ① グラウンド整備事業費：124,300,000円 ② 駐車場・テニスコート整備事業費：79,981,000円		